

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1593年	9月6日	文禄二年	八月十一日	その他	時慶記上二二〇	臨川書店	天晴、昨今残暑甚シ、
1593年	9月7日	文禄二年	八月十二日	その他：大雨	時慶記上二二一	臨川書店	今暁雷電大雨、昼モ大雨又雷鳴ス、
1593年	10月3日	文禄二年	九月九日	風害	時慶記上二二八	臨川書店	雨天、大風損屏以下、
1593年	10月19日	文禄二年	九月二十五日	地震	時慶記上二三三	臨川書店	夜半ニ地振動甚シ、
1594年	2月10日	文禄二年	十二月二十日	疫病	時慶記上二六七	臨川書店	世上風邪流注ス、
1594年	2月15日	文禄二年	十二月二十五日	疫病	時慶記上二六七	臨川書店	天下疫病流行、残暑一人モ無、上一人ヨリ下方民皆病、不思儀ノ事共也
1595年	7月13日	文禄四年	六月七日	洪水	言継卿記六	大日本古記録	雨、洪水、大雨、…洪水見物ニ罷出之処ニ…
1595年	9月13日	文禄四年	八月十日	その他：大雨	言継卿記六	大日本古記録	巳刻ニ大風雨、屋ノヤネ破損、…
1595年	9月13日	文禄四年	八月十日	洪水	皇年代私記	改定史籍集覧 19-P78	大雨洪水
1595年	9月13日	文禄四年	八月十日	洪水	皇年代略記	新校群書類従 2-P222	大雨・洪水、
1596年	7月7日	文禄五年	六月十二日	その他	享禄以来年代記	統群書類従 29下 -P256	泥土降、又氷毛、
1596年	8月5日	文禄五年	七月十二日	地震	皇年代私記	改定史籍集覧 19-P79	大地震、逾月不止、京師・畿内・關東諸国降毛四五寸、
1596年	9月4日	文禄五年	七月十二日	地震	享禄以来年代記	統群書類従 29下 -P256	大地震、禁中築地・堂舎、伏見矢倉、男女圧死者多、大仏像腹崩、止供養事、
1596年	9月4日	文禄五年	七月十二日	地震	皇年代略記	新校群書類従 2-P222	大地震、逾月不止、京師・畿内・關東諸国、降毛四、五寸、
1596年	9月4日	慶長一年	七月十二日	地震	梵舜記・續皇年代略記・泰平年表・日本野史	日本災異志	閏七月十二日、地大震、畿内最甚矣、大佛殿、北野経堂及東寺金堂顛倒、京中諸寺総壊損、死者數萬人、(梵舜記)伏見城殿舎顛倒、上臈女房七十三人、中居下婢五百餘人共壓死(御浴殿日記)(信越地震記)其外山崩地裂泥涌、濱海水溢、人屋蟄陷、人畜死傷亦亡算、迨冬地震猶不止(日本野史)是日京都及關東諸国、雨毛四五寸(續皇年代略記)○柳營秘鑑年代記及本朝地震考閏七月五日地大震逾月而不正
1596年	9月5日	慶長一年	七月十三日	地震	梵舜記	日本災異志	閏七月十三日、内府徳川家康、赴于伏見沿道屋舎悉破倒、是日地震
1596年	9月9日	慶長一年	七月十七日	地震	梵舜記	日本災異志	地震清水寺外廊顛倒
1599年	1月30日	慶長四年	一月四日	火災	日本野史	日本災異志	東寺火
1599年	2月21日	慶長四年	一月二十六日	火災	日本野史	日本災異志	東寺火
1601年		慶長六年		疫病	逸史	日本災異志	山東疫疾大行
1601年		慶長六年		その他：大雨	一六〇一、〇二年の日本の諸事	十六・七世紀イエズス会日本報告集 I -4-P88	(年次は推定) この苦難は、日本で何年ぶりの大凶作と飢饉の年に起こっただけに、いっそう辛く厳しかった。なぜなら、日本中に降った大雨で、稲、小麦、大麦、その他の食糧は、すでに穂が出ていながら、ひどく腐敗し、ほとんどたすからなかったからであ
1601年	9月9日	慶長六年	八月十三日	洪水	梵舜日記	綜覧 13-304、日本の気象史料	雨降、富森在已下洪水指入、次淀大橋落
1601年	12月4日	慶長六年	十一月十日	その他	当代記	綜覧 13-313	京都土を降らす
1601年	9, 10月(9.26-10.25)	慶長六年	九月	その他	当代記	綜覧 13-308	是秋、諸国凶す
1602年	1月15日	慶長七年	十二月四日	火災	皇年代略記・續皇年代略記	日本災異志	東寺大佛殿火
1602年	10月12日	慶長七年	八月二十七日	洪水：その他	舜旧記・当代記	綜覧 13-333	山城風雨洪水

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1603年	1月20日	慶長八年	十二月十九日	火災	御浴殿日記	日本災異志	曇華院火
1603年	2月25日	慶長八年	一月十五日	疫病	言経卿記 二八	史料 12-1-210	大浦九朗右衛門尉抱瘡薬所望、煎薬二包遣了
1603年	3月10日	慶長八年	一月二十八日	疫病	時慶卿記 十五	史料 12-1-210	里ノ息女痘瘡出
1603年	3月25日	慶長八年	二月十三日	疫病	慶長日件録 一	史料 12-1-211	嫡男煩瘡瘡也、鼻血酉刻計ヨリ無間断垂
1603年	3月26日	慶長八年	二月十四日	疫病	慶長日件録 一	史料 12-1-211	嫡男痘瘡□血不溜以外也、色々雖尽療治、申下刻令死去畢
1603年	4月4日	慶長八年	二月二十三日	火災：その他	鹿苑日録 十八	史料 12-1-65	未刻ニ俄ニ雨降、疾雷動乾坤、三郎衛門来、向予曰、只今雷落地、西之京路ニテ取人ト云々、於途中傾笠耕田者也ト云々、頭上雷火ニテ燃ト云々
1603年	6月3日	慶長八年	四月二十四日	洪水：その他	義演准后日記八・時慶卿記	史料 12-1-245	大雨洪水
1603年	6月4日	慶長八年	四月二十五日	洪水：その他	鹿苑日録 十八	史料 12-1-245	昨雨洪水故今午迄渡川難成
1603年	7月7日	慶長八年	五月二十八日	地震	時慶卿記 十六	史料 12-1-321	已刻計ニ地震鳴動、夕ニ白虹ニ筋東山ニ立
1603年	8月17日	慶長八年	七月十一日	その他：大雨	言経卿記 二九	史料 12-1-364	大夕立雷鳴〈三所へ落云々〉
1603年	8月17日	慶長八年	七月十一日	その他：大雨	時慶卿記 十七	史料 12-1-364	申刻ニ夕立雷鳴シテ、清荒神ノ門前柳へ落、木皮裂、当座ニ前ノ家者死、小童モ煩由也、今出川ノ米屋倉へモ落、人死由申候、又下京へモ落由候、可尋之
1603年	8月17日	慶長八年	七月十一日	その他	慶長日件録 一	史料 12-1-364	今出川殿へ参、夕立甚雷声驚耳、二三ヶ所落云々
1604年	2月3日	慶長九年	十二月十六日	地震	当代記三	史料 12-2-749	戌刻牛寅ノ方ニ魂打三度、同地震、其夜、自関東上者、今切之東舞坂ニ宿、右之魂打ト聞へケレハ、俄ニ大波来て、橋本ニ家百間程有所ニ、八十間計潮引手行、纔二十間計残ケル、人多死、折節舟ニ乗合ケル者ハ、荷物ヲハネ、舟ハ山際へ打上ケル、其時釣ニ出ケル舟廿艘計、行末不知、此時伊勢国浦々潮数町干タリケル事一時計也、漁人トモ魚鮑已下、心ノ儘ニ取所ニ、潮俄ニ来テ、大石トモ浦々へ打上ケル間、生テ帰者ナシ、其内二年老ノ者ハ、如何様不審ニ思、急テ陸へ上者ハ、少々生テ帰モ有ケル、右之波ノ打上ケル石トモニ、鮑已下或五十、或七八十有ケル、島々□人屋又兵糧ノ蔵以下、船綱（綱カ）無残所、潮ニ流テ行末不知、関東モ此波同前云々、二百四十四年先、康安元〈辛丑〉七月廿四日撰州難波浦ニ如欺ノ儀有ケル田、太平記ニ在之
1604年	2月13日	慶長九年	十二月二十六日	火災	杉山年代記	日本災異志	曾禰脚塚火、女一人焼死
1604年	4月3日	慶長九年	三月四日	その他：大雨	時慶卿記 十九	史料 12-2-17	今晚大雷雨荒
1604年	4月3日	慶長九年	三月四日	その他：大雨	慶長日件録 一	史料 12-2-17	及薄暮雷雨甚
1604年	5月5日	慶長九年	四月七日	旱魃・渇水	鹿苑日録	日本凶荒史 孝	終ニ向來雨不降、春旱ト云々
1604年	6月21日	慶長九年	五月二十四日	旱魃・渇水	鹿苑日録	日本凶荒史 孝	欲移青苗、無水、此節如此旱魃、予覚廿年来無之、古今初也、青苗不移、各々百姓枕畝、終夜不帰家、艱難無過此節
1604年	6月24日	慶長九年	五月二十七日	旱魃・渇水	鹿苑日録	日本凶荒史 孝	各々辛勞不限昼夜、横□臥広野、農夫亦不帰家、家広野、枕石者、無如此時、行末不知、旱魃是亦天所命也
1604年	7月10日	慶長九年	六月十四日	防災：旱魃・渇水	壬生家四巻之日記	史料 12-2-305	炎旱及数日、民間之愁尤甚、一七日御祈事（伊勢及び近畿の諸寺社に勅）
1604年	7月10日	慶長九年	六月十四日	防災：その他	時慶卿記	日本の気象 史料	湿雨之御祈、諸社へ被仰

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1604年	7月11日	慶長九年	六月十五日	旱魃・渇水	鹿苑日録	日本凶荒史孝	昨暮、寺庵、社人、經所衆、百姓、各々抽丹誠、仰天伏地、雖乞雨終ニ雨不降、却テ炎天殺人而已、□□水一滴無之、百姓不堪
1604年	7月17日	慶長九年	六月二十一日	防災：旱魃・渇水	鹿苑日録	日本凶荒史孝	如此早、近年廿ヶ年以來者不覚、自禁中当社へ七日之雨乞ト云々…雖然雨不降
1604年	8月1日	慶長九年	七月六日	その他：大雨	言經卿記三一	史料 12-2-363	大夕立、雷三ヶ所落云々
1604年	8月1日	慶長九年	七月六日	その他：大雨	時慶卿記二一	史料 12-2-363	未下刻ニ大雷大雨降大地湿
1604年	8月1日	慶長九年	七月六日	その他：大雨	慶長日件録一	史料 12-2-363	未刻夕立如車軸
1604年	8月20日	慶長九年	七月二十五日	防災：旱魃・渇水	時慶卿記二一	史料 12-2-424	暑甚、井ノ水涸、井共土ヲ上サセ候、裏地ニテ雨乞ノ祈念ヲ私ニ致、小蛇現、及夜忽ニ雷鳴、電シテ雨降、此度迄四度、今度ノ日照ニ致之処ニ有驗、人ニ不洩之
1604年	8月20日	慶長九年	七月二十五日	旱魃・渇水	当代記三	日本凶荒史孝	夜俄大雨、六七月旱魃、国民令迷惑
1604年	8月21日	慶長九年	七月二十六日	防災：その他	時慶卿記二一	史料 12-2-424	猶致祈念…大ニ夕立雷鳴ス、奇妙ノ儀也
1604年	8月21日	慶長九年	七月二十六日	旱魃・渇水	慶長日件録一	史料 12-2-424	及晩雨降、此中炎日打続、上京中渇水以外也、予也後庭井水尽之間、新又令掘也
1604年	8月22日	慶長九年	七月二十七日	その他：大雨	慶長日件録一	史料 12-2-424	及晩大雨降、幾度降
1604年	8月28日	慶長九年	八月四日	その他：風害	時慶卿記二一	史料 12-2-456	晩大風
1604年	8月28日	慶長九年	八月四日	その他：大雨	当代記三	史料 12-2-456	酉ノ刻ヨリ大風、タソカレ時迄ハ雨少降、時モ有之、戌刻ヨリ雨不降、風計也、諸国失毛也、不可勝計
1604年	8月29日	慶長九年	八月五日	その他：大雨	時慶卿記二一	史料 12-2-456	雨天如墜栗、
1604年	8月29日	慶長九年	八月五日	風害	当代記三	史料 12-2-456	美濃、尾張、伊勢大風、然トモ至テ無失毛之儀、長島、伊勢浦近辺ハ風ニ付テ損亡ナリ
1604年	9月8日	慶長九年	八月十四日	風害：その他	当代記三	史料 12-2-457	伊勢尾州近江美濃者大風、山城大和畿内此風不吹、三河ノサシテ不吹、尾州長島高波ニテ堤崩水入、
1604年	9月8日	慶長九年	八月十四日	風害	徳川実紀	日本の気象史料	伊勢尾張美濃近江等大風、伊勢の長島は高波にて堤をやぶり、暴漲田圃を害す
1604年	11, 12月 (11.21-12.20)	慶長九年	十月	疫病	慶長日件録	人権歴史年表	翌年にかけて畿内に痘瘡麻疹流行
1604年	6, 7月 (6.27-7.26)	慶長九年	六月	旱魃・渇水	当代記	日本の気象史料	六七月旱魃、国民令迷惑
1605年	1月20日	慶長十年	十二月十二日	疫病	時慶卿記二六	史料 12-3-701	小捨痘瘡出
1605年	7月10日	慶長十年	五月二十四日	旱魃・渇水	慶長見聞書	日本凶荒史孝	廿四日ヨリ雨不降、天旱魃、下民悉迷惑至極也
1605年	7月25日	慶長十年	六月十日	旱魃・渇水	慶長見聞書	日本凶荒史孝	晩伏見夕立雨甚、京都ハ不降、此年モ干魃付テ、摂州小屋ノ池水干、魚モ死、但去年ノ程ニハ無之、去年廿三ノ以降、雨不降、諸国旱魃甚也
1605年	7月29日	慶長十年	六月十四日	旱魃・渇水	義演准后日記十	史料 12-3-239	去月廿三日雨降已後、今日初夕立、万民安堵云々
1605年	7月29日	慶長十年	六月十四日	旱魃・渇水	慶長見聞集三	史料 12-3-240	五月廿四日ヨリ雨不降、天旱魃、下民悉迷惑至極也…六月十四日晚、伏見夕立雨甚、京都ハ不降、此年年モ干魃付テ、摂州小屋（昆陽カ）ノ池水、魚モ死、但去年ノ程ニハ無之、去月廿三日ノ以降雨不降、諸国旱魃甚也、廿八日夜半雨フル
1605年	8月2日	慶長十年	六月二十日	防災：旱魃・渇水	鹿苑日録二〇	史料 12-3-240	今日雨乞ト云々

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1605年	9月3日	慶長十年	七月二十日	洪水	当代記	日本の気象史料	美濃津張伊勢近江三川大水、伏見京はさいて水不出、関東も此水不出、ろく川の堤西も二箇所、東も二箇所切、大柿へ水入、大柿の下も□切、高須へも水入、三十年已来の水の由、但木曾川はさして不出、三川ねふの木浅井堤切、所々水入
1605年	4, 5月 (4.18-5.17)	慶長十年	三月	旱魃・渇水	野史	日本震災凶鐘攷	春大に旱す
1605年	6, 7月 (6.17-7.15)	慶長十年	五月	旱魃・渇水	逸史	日本災異志	旱
1605年	7, 8月 (7.16-8.14)	慶長十年	六月	旱魃・渇水	野史	日本震災凶鐘攷	昆陽池涸れる
1605年	8, 9月 (8.15-9.12)	慶長十年	七月	洪水	野史	日本震災凶鐘攷	東山東海諸国大水
1605年	9, 10月 (9.13-10.12)	慶長十年	八月	風害	野史	日本震災凶鐘攷	山陽西海諸国大風稼を傷む
1606年		慶長十一年		旱魃・渇水	享禄以来年代記	続群書類従29下	今年日本國中竹結実而枯
1606年	2月7日	慶長十一年	一月一日	疫病	慶長日件録二	史料 12-3-701	嫡男鶴光丸自昨日疱瘡
1606年	7月7日	慶長十一年	六月三日	洪水：その他	梵舜日記	日本凶荒史孝	富森佐介来、依洪水在所之田地不作之由申来也
1606年	9月23日	慶長十一年	八月二十一日	風害	義演准后日記十一	史料 12-4-302	大風常御所ヤネ書院ノ棟瓦等悉吹落了
1606年	9月23日	慶長十一年	八月二十一日	その他：風害	鹿苑日録二一	史料 12-4-302	自朝雨天、風頻吹、田地等少痛、自申刻止
1606年	9月23日	慶長十一年	八月二十一日	その他：風害	当代記三	史料 12-4-303	巳午刻ヨリ申刻迄大風
1606年	9月23日	慶長十一年	八月二十一日	その他：風害	梵舜日記	日本凶荒史孝	大風雨交降
1606年	10月 (10.2-10.31)	慶長十一年	九月	その他	当代記	日本凶荒史孝	秋毛不熟、兩度ノ風故歟、関東猶以凶年ト云々
1606年	10月1日	慶長十一年	八月二十九日	その他：風害	慶長日件録二	史料 12-4-302	入夜大風
1606年	10月1日	慶長十一年	八月二十九日	その他：風害	当代記三	史料 12-4-303	夜ヨリ翌朝（朔日イ）巳ノ刻迄大風、美濃、近江、伊勢大風也、尾州ヨリ東ハ少ノ儀也、四国中国ハ大風、浜辺ハ塩所々へ入、北伊勢モ塩所々へ入、長島江塩不入、大島へハ塩入
1606年	10月1日	慶長十一年	八月二十九日	その他：風害	梵舜日記	日本凶荒史孝	入夜大風以外也
1606年	10月1日	慶長十一年	八月二十九日	その他：風害	当代記	日本凶荒史孝	夜ヨリ翌朔日巳ノ刻迄大風、美濃近江伊勢大風也、尾州ヨリ東ハ少ノ儀也、四国中国ハ大風、浜辺ハ塩所々エ入、北伊勢モ塩所々へ入、長島エ塩不入、大島へハ塩入
1606年	10月2日	慶長十一年	九月一日	その他：風害	慶長日件録二	史料 12-4-302	昨夜大風、至巳刻漸相止
1606年	10月2日	慶長十一年	九月一日	風害	鹿苑日録二一	史料 12-4-302	昨夜晦日自子刻及寅刻風甚シテ雨類、屋上吹破、垣トモ倒却ス、今年及兩度風吹、田地等甚痛也
1606年	10月22日	慶長十一年	九月二十一日	その他：風害	言経卿記三三	史料 12-4-302	子刻ヨリ風雨
1606年	10月30日	慶長十一年	九月二十九日	その他：風害	言経卿記三三	史料 12-4-302	夜に入風雨
1606年	2, 3月 (2.7-3.8)	慶長十一年	一月	火災	当代記三 慶長日件録	史料 12-3-903	所々町失火、京辺土ノ吉田、奈良テングイ、上坂本、江州ノ野洲、武佐、三河国吉田、赤坂、遠江ノ白須賀、橋本、下野国館林町失火也、関東ヨリ上ル者云、所々町々無失火所ハ、大方無之ト云々、旧冬ヨリ正月十二日迄風降甚寒、十五日殊風烈
1607年		慶長十二年		疫病	当代記三	史料 12-5-287	当年京田舎二人多病死ス
1607年		慶長十二年		疫病	輝資卿記	日本疾病史	御ひめハシカいで候よし、

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1607年	5月16日	慶長十二年	四月二十一日	大雨：旱魃・渇水	鹿苑日録別録	史料 12-4-869	終日晒雨、及夜蕭々、惟時久旱水枯、農夫□野者也
1607年	8月4日	慶長十二年	六月十二日	火災	孝亮記	日本災異志	吉田社火
1607年	8月5日	慶長十二年	六月十三日	防災	鹿苑日録二二	史料 12-4-960	自午時雨降、昨日於賀茂雨乞執行、此故乎
1607年	8月13日	慶長十二年	六月二十一日	防災	鹿苑日録二二	史料 12-4-961	自申刻雨降、及暁天、農夫不堪歎□
1607年	8月23日	慶長十二年	七月一日	旱魃・渇水	鹿苑日録二二	日本の気象史料	炎天苦熱、農夫も不耐恐怖、青苗亦已黄傘、人々恐飢死而已、久旱無過当年
1607年	12月3日	慶長十二年	十月十四日	火災	孝亮記	日本災異志	郡村在家火
1608年		慶長十三年		洪水：その他	梵舜日記	日本凶荒史孝	此度之依洪水、当作一円＝無之、中々不及沙汰次第也
1608年	2月29日	慶長十三年	一月十四日	旱魃・渇水	義演准后日記十三	史料 12-5-362	亥刻雨降、久不降、甘雨々々
1608年	4月3日	慶長十三年	二月十八日	その他	義演准后日記十三	史料 12-5-508	櫻〈彼岸〉不咲、当春遅引
1608年	6月2日	慶長十三年	四月二十日	洪水：その他	梵舜日記十四	史料 12-5-523	及夜以外大雨降、洪水也
1608年	6月3日	慶長十三年	四月二十一日	その他：大雨	義演准后日記十三	史料 12-5-523	大雨
1608年	6月4日	慶長十三年	四月二十二日	その他：大雨	梵舜日記十四	史料 12-5-523	神宮寺乾方土井、昨日之大雨崩、路次已下散々損了
1608年	7月1日	慶長十三年	五月十九日	洪水：その他	梵舜日記十四	史料 12-5-523	大雨洪水以外也
1608年	7月14日	慶長十三年	六月三日	洪水：その他	孝亮宿禰日記二	史料 12-5-568	雨降、二三日以来雨脚頻降、洪水有之、七十年来之水云々、群村堤中崩之由
1608年	7月14日	慶長十三年	六月三日	その他：大雨	義演准后日記十三	史料 12-5-568	大雨
1608年	7月14日	慶長十三年	六月三日	洪水：その他	梵舜日記十四	史料 12-5-568	大雨降、大洪水以外也
1608年	7月18日	慶長十三年	六月七日	洪水：その他	梵舜日記十四	史料 12-5-568	祇園会鉾作山已下無事相渡也、神輿御幸、依洪水、浮橋、例年京中材木屋相懸候、洪水以外夜深遅々、神幸入夜也
1608年	7月19日	慶長十三年	六月八日	洪水：その他	当代記四	史料 12-5-568	大水、洛中室町水押入家財侵（没イ）、河内国摂津国堤上水越、美濃国ヨリ東ハサシテ不出ト云々
1608年	8月11日	慶長十三年	七月一日	その他：大雨	義演准后日記十三	史料 12-5-569	終日雨降、戌刻雨尚不止
1608年	9月8日	慶長十三年	七月二十九日	その他：大雨	義演准后日記十三	史料 12-5-702	雨降、朔日降、其後今日初甘雨降、万民開愁眉
1608年	9月9日	慶長十三年	八月一日	洪水：その他	孝亮宿禰日記二	史料 12-5-701	雨降、撰家方参御礼、有洪水之故、二条殿水御見物有御成、予参御供、真如堂前御歴覽、四五十年以来之洪水云々
1608年	9月9日	慶長十三年	八月一日	洪水：その他	義演准后日記十三	史料 12-5-702	終日大雨、洪水出
1608年	9月9日	慶長十三年	八月一日	洪水：その他	梵舜日記十四	史料 12-5-702	雨降、川水大出也、依雨駿州へ下向延引申也
1608年	9月9日	慶長十三年	八月一日	洪水	当代記四	史料 12-5-702	大水、七十年来無比類由、古老申之、諸国堤切、村里如海、洛中へ水入、人余多流死、諸国損亡不可勝計、此水東三河ヨリ東国へハサセル儀ナシ、播磨ヨリ西国ハ尚以水不出
1608年	9月10日	慶長十三年	八月二日	土砂災害：洪水	義演准后日記十三	史料 12-5-702	山上御影堂庭最前崩、其後築之、大雨ニ大崩、岳洞院マテーナタレニ成云々、大水共ニスサリ畢、中谷ノ道慈心院モ崩、書院
1608年	9月11日	慶長十三年	八月三日	その他	義演准后日記十三	史料 12-5-702	上ノ道通路止云々、前代未聞ノ事也、珍事々々
1609年	3月13日	慶長十四年	二月八日	火災	孝亮記	日本災異志	夜紫野寺火
1609年	3月14日	慶長十四年	二月九日	防災	時慶卿記二七	史料 12-5-703	久世村ヨリ明日堤ノ普請公儀ヨリ被申付候、一礼二人ヲ出シ可申旨相触了
1609年	3月26日	慶長十四年	二月二十一日	防災	義演准后日記十四	史料 12-5-703	伏見向島普請、寺領人夫懸了

西 暦		和 暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1609年	3月28日	慶長十四年	二月二十三日	その他	義演准后日記十四	史料 12-5-703	寺領分へ伏見堤突入夫懸了、守護不入ノ所不謂儀也、雖然出了、但下奉行へ理ニ付、当郷ハ相除之、当郷ハ相除之、人夫八百石ニ付一
1609年	6月20日	慶長十四年	五月十九日	その他：大雨	義演准后日記十四	史料 12-6-394	大雨降、万民悦楽
1609年	6月20日	慶長十四年	五月十九日	その他：大雨	時慶卿記二八	史料 12-6-395	雨天大湿
1609年	6月27日	慶長十四年	五月二十六日	その他：大雨	義演准后日記十四	史料 12-6-394	終日大雨降
1609年	7月14日	慶長十四年	六月十三日	洪水：その他	義演准后日記十四	史料 12-6-394	大雨洪水
1609年	7月16日	慶長十四年	六月十五日	洪水：その他	孝亮宿禰日次記二	史料 12-6-395	雨下、自午刻許休止、大水也
1609年	9月7日	慶長十四年	八月九日	風害	当代記五	史料 12-6-541	亥刻ヨリ京都畿内大風、翌日又亥刻迄大風、江州作毛損亡、他国サシテ不損毛、此風美濃尾張三川八十日午刻ヨリ亥刻迄吹
1609年	9月7日	慶長十四年	八月九日	風害	当代記五	日本凶荒史孝	亥刻ヨリ京都畿内大風、翌日又亥刻迄大風、江州作毛損亡、他国ハサシテ不損亡
1609年	9月7日	慶長十四年	八月九日	風害	談海後編	日本震災凶鐘攷	京畿諸国大風、近江殊に損す
1609年	9月8日	慶長十四年	八月十日	その他：風害	御湯殿上日記六五	史料 12-6-540	雨ふる、かせふく
1609年	9月8日	慶長十四年	八月十日	風害	時慶卿記二九	史料 12-6-540	雨天、夜中ヨリ暴風、長ヨリ吹不止、風ニ損ヤネ直サセ候事、手間入、風及夜半少弱
1609年	9月8日	慶長十四年	八月十日	風害	義演准后日記十四	史料 12-6-540	去夜ヨリ終日大風雨、寝殿北方両所コケラ吹破、常御所棟瓦〈箱棟〉吹落吹マクリ、雨モリ、天井損了、門内壁共大都吹コロヒ了
1609年	9月14日	慶長十四年	八月十六日	洪水：その他	孝亮宿禰日次記二	史料 12-6-541	雨脚頻降、有洪水之間、帰路廻三条橋
1609年	9月14日	慶長十四年	八月十六日	洪水：その他	当代記五	史料 12-6-541	大洪水、西国東国何モ同前、去年八月之水ヨリ、美濃ヨリ遠江国迄、三尺程高シ、関東畿内西国ハ、去年ノ水ヨリ三尺程下シ
1609年	9月14日	慶長十四年	八月十六日	洪水：その他	談海後編	日本震災凶鐘攷	東国西国大洪水
1609年	9月15日	慶長十四年	八月十七日	洪水：その他	義演准后日記十四	史料 12-6-540	昨日大雨洪水、如五月雨
1609年	9月25日	慶長十四年	八月二十七日	その他：大雨	当代記五	史料 12-6-394	当年雨降カチナリトテ、町人年寄付之見ケルニ、正月ヨリ八月廿七日迄、百廿日雨降ケル由、京中沙汰シケル
1609年	9月26日	慶長十四年	八月二十八日	その他：大雨	時慶卿記二九	史料 12-6-541	申刻ヨリ雨、夜ハ雷鳴、雨大降、一世ノ初也
1609年	10月14日	慶長十四年	九月十七日	洪水：その他	義演准后日記十四	史料 12-6-540	洪水ニ付、淀堤方々キレ、伏見浜水未引、仍上道ヘママリ畢
1609年	6, 7月 (5.1-7.1)	慶長十四年	五月	その他：大雨	談海	日本災異志	霖雨近畿書稼
1610年	2月1日	慶長十五年	一月八日	疫病	時慶卿記三一	史料 12-6-973	女三宮痘瘡、去二日頃ヨリ熱氣アリテ出ト
1610年	2月14日	慶長十五年	一月二十一日	疫病	時慶卿記三一	史料 12-6-973	光照院殿御喝食御所痘瘡出候
1610年	3月8日	慶長十五年	二月十三日	疫病	時慶卿記三一	史料 12-6-973	二条殿養姫君十八歳、痘瘡ニテ被卒
1610年	3月11日	慶長十五年	二月十六日	疫病	時慶卿記三一	史料 12-6-973	如見ヘ遣人、兄弟三人抱、二人八本復、一人相畢由候
1610年	3月17日	慶長十五年	二月二十二日	疫病	時慶卿記三一	史料 12-6-973	里ノ見見廻ニイ茶ヲ遣候、一段能痘出ト
1610年	5月31日	慶長十五年	四月九日	疫病	時慶卿記三二	史料 12-6-973	冷泉為満見廻ニ出、疹出又遣葉候
1610年	6月2日	慶長十五年	四月十一日	防災	時慶卿記三二	史料 12-6-973	冷泉為満ノ見大驗ノ由、昨日預使者、今朝脈ニ行遣葉候

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1610年	6月14日	慶長十五年	四月二十三日	疫病	時慶卿記 三二	史料 12-6-973	少女駒痘少出
1610年	9月8日	慶長十五年	七月二十一日	風害	当代記五	日本凶荒史 孝	申刻ヨリ大風、及亥刻休止…畿内諸国 田畠損毛不可勝計、但遠州ヨリ東者サ シテ此風不強
1611年		慶長十六年		その他	当代記六	史料 12-9-284	此秋、中国四国ハ凶年、五畿内モ不 宜、近江ヨリ東国ハ豊作也、但、信 州下野上野奥州ハ凶年也
1611年	12月20日	慶長十六年	十一月十七日	火災	談海後編	日本災異志	未刻、伏見町失火在家千餘宇焼亡
1611年	12.1月 (12.4-1.2)	慶長十六年	十一月	旱魃・渴水	当代記六	史料 12-9-285	去霜月中旬ノ比ヨリ、京中井ノ水 乏、少アルモ濁テ用事不成、廿三 四年以前如此有ケルトナリ、極 月ハ雨節々フリケル間、後ニハ 井水出タリ
1611年	9,10月 (10.6-11.4)	慶長十六年	九月	その他	談海後編	日本震災凶 鐘攷	秋、山陽西海及び東海陸羽凶す
1612年		慶長十七年		その他：大雨	談海	日本災異志	霖雨駿河以西諸国不登
1612年		慶長十七年		冷害・雪害	当代記七	史料 12-10-80	今年ハ夏秋冬雨シケル事、近年無 比類、寒中モ甚暖氣、偏ニ如春 ノ此年五穀不熟
1612年	2月17日	慶長十七年	十二月二十八日	その他：大雨	当代記七	日本凶荒史 孝	今年ハ夏秋冬雨シケキ事、近年無 比類、寒中モ甚暖氣、偏ニ如春 ノ此年五穀不熟
1612年	5月24日	慶長十七年	四月二十四日	冷害・雪害	本光国師日 記七	史料 12-10-525	惣別上方ハ卯月下旬比寒氣如冬、 廿四日ニハ大電降申候、事外風 氣之様成煩葉流申候由ニ候
1612年	5月24日	慶長十七年	四月二十四日	その他：大雨	梵舜日記 十六	史料 12-10-525	午刻夕立大雨、雷鳴大響、霰雨ニ 交降敷刻也
1612年	5月24日	慶長十七年	四月二十四日	冷害・雪害	皇年代私記	改定史籍集 覧 19-P79	雨電降、
1612年	6月18日	慶長十七年	五月十九日	洪水：その他	義演准后日 記十七	史料 12-10-525	大雨洪水可出敷
1612年	6月21日	慶長十七年	五月二十二日	洪水：その他	義演准后日 記十七	史料 12-10-525	大雨洪水水堤切云々
1612年	6月25日	慶長十七年	五月二十六日	洪水：その他	義演准后日 記十七	史料 12-10-525	終日大雨降、定洪水可出
1612年	9月20日	慶長十七年	八月二十五日	洪水	当代記七	史料 12-10-522	洛中大水、新船入ノ屋形堤以下浸 水、見懲之歎、此以前家可作ト 思立ケル者モ止ケルト也
1612年	9月20日	慶長十七年	八月二十五日	洪水	談海後編	日本災異志	京都洪水
1612年	9月21日	慶長十七年	八月二十六日	洪水	義演准后日 記十七	史料 12-10-525	一昨日京都近代ノ洪水云々、三 条小橋モ流云々
1612年	9月21日	慶長十七年	八月二十六日	その他：大雨	孝亮宿禰日 次記三	史料 12-10-525	昨日大雨、三条小橋流落之由風聞
1612年	9月26日	慶長十七年	九月二日	風害	義演准后日 記十七	史料 12-10-79	大雨大風、常御所吹破、大道 払除依大雨止之
1612年	9月26日	慶長十七年	九月二日	風害	当代記七	史料 12-10-79	夜前丑刻ヨリ大風…従去月長雨、 于今止、近江、伊勢、美濃、尾張 ハ此風強吹、従遠州東ハ少吹、伊 賀国上野城、古ノ殿守ヲコホチ、 新殿ヲ立ケルカ、五重ノ上ノ重計 葺、総ハ未葺、塀モ不出来ニ、 右之西ノ風ニ倒、大工并手伝ノ者 百八十人倒死、此外手負モ少々有 トカヤ、美作国此時大水出、城近 辺ニテ三千人程人死、其外彼国中 ニテ二千余、都合五千程死ト云々、 同牛馬同前、洛中ハサシテ不吹、 サシテ草木ニ何ノ国モ不当ト云々
1612年	9月26日	慶長十七年	九月二日	風害	当代記七	日本凶荒史 孝	夜前丑刻ヨリ大風、今日至未刻、 西辺殊強、則休止、但水ハ不出、 従去月長雨于今止、近江、伊勢、 美濃、尾張ハ此風強吹、美作国 此時大水、城近辺ニテ三千人程 人死、其他彼国中ニテ二千余、 都合五千余死ト云々
1612年	10月6日	慶長十七年	九月十二日	風害	当代記七	史料 12-10-80	雨、此比迄去夏中ヨリ雨打続、上 下迷惑也、殊当月二日ノ大風ニ 倒伏田畠、此長雨ニ付不豊也、諸 国大方此分也、但従駿河東ハ大 風不吹、夏中モ今モ長雨ナシ

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1612年	10月7日	慶長十七年	九月十三日	火災	談海後編	日本災異志	戌刻、京都黒谷堂火、法然上人像焼亡
1612年	10月20日	慶長十七年	九月二十六日	旱魃・渇水	当代記七	史料 12-10-80	長雨今朝迄降、但其間或ハ一日、或ハ二日三日、早時モ有、從今晩快晴ニ成
1612年	5, 6月 (5.1-6.28)	慶長十七年	五月	洪水：その他	談海後編	日本震災凶 鐘攷	春雨なく、五月に至り霖雨、諸国洪水 大風、九月に至るまで被害
1613年	6月29日	慶長十八年	五月十二日	洪水：その他	鹿苑日録 二四	史料 12-11-349	大雨、当院門前水浸屋床
1613年	7月10日	慶長十八年	五月二十三日	旱魃・渇水	当代記八	日本の気象 史料	京都は五月廿三日の後、夕立雨も不降
1613年	8月28日	慶長十八年	七月十三日	防災：旱魃・渇水	孝亮宿禰日 次記三	史料 12-11-374	炎旱御祈之事被仰出之由…炎旱及数日、民間之愁尤甚、一七ヶ日御祈事…
1613年	9月17日	慶長十八年	八月三日	風害	本光国師日 記十	史料 12-11-400	志摩殿（寺沢広高）八月五日之状来、八月三日之大風見廻之書中也、唐津廻壁やね損、船共うせ候由之書中也、去月三日貴国大風大破、御知行分過半御失損之由、驚存候（金地院より羽柴越中あて、）
1613年	7, 8月 (7.18-8.15)	慶長十八年	六月	旱魃・渇水	談海後編	日本震災凶 鐘攷	夏諸国旱す
1614年	5月14日	慶長十九年	四月六日	冷害・雪害	校正王代一 覧後編	日本の気象 史料	氷降り寒き事冬の如し
1614年	6月3日	慶長十九年	四月二十六日	洪水：その他	時慶卿記 四〇	史料 12-13-155	雨天、斎坊主来義、十念寺之中、兩隣洪水流入由候
1614年	6月4日	慶長十九年	四月二十七日	洪水：その他	当代記九	史料 12-13-160	及晩大洪水、下京町末ノ小家流、撰津国、河内并大坂森口之堤切、彼表頃年無比類大水也
1614年	6月13日	慶長十九年	五月六日	その他：大雨	時慶卿記 四〇	史料 12-14-155	雨大降、午ヨリ止、水出由候間、十念寺へ尋ニ遣候
1614年	6月19日	慶長十九年	五月十二日	洪水：その他	当代記九	史料 12-14-161	大洪水七十一年已来、天文十三（甲辰）ノ年ヨリ已来ノ大水ト云々、諸国耕作忘業、去月廿八日ノ大水ニ切タル諸国堤共、打続水出ニ付テ、難築故、其候有之上ニ、此大水ニ猶以切ル、和泉、河内、撰津国、江州、美州、尾州六ヶ国、取分如海河、大坂森口ノ堤、如元ハ難成就云々、今日（甲子）猶以大雨、三河国ヨリ東洪水ニテハ有共、右ノ五（六）ヶ国ノ水ホトハナシ
1614年	6月26日	慶長十九年	五月十九日	洪水：その他	駿府記	史料 12-14-159	五畿内大雨洪水賀茂川堤切、流町屋云々、瀬田橋板傾落云々
1614年	7月2日	慶長十九年	五月二十五日	防災	義演准后日 記十八	史料 12-14-158	止雨御祈論旨到来
1614年	7月3日	慶長十九年	五月二十六日	防災	孝亮宿禰日 次記四	史料 12-14-154	神宮止雨之御祈可有之
1614年	7月11日	慶長十九年	六月五日	洪水：その他	義演准后日 記十八	史料 12-14-158	洪水、伏見六地藏辺家成水底云々
1614年	8月12日	慶長十九年	七月七日	洪水：その他	義演准后日 記十八	史料 12-14-158	大雨洪水以外云々
1614年	9月9日	慶長十九年	八月六日	その他：風害	時慶卿記 四一	史料 12-12-550	午ヨリ雨風大也
1614年	9月9日	慶長十九年	八月六日	その他：風害	孝亮宿禰日 次記四	史料 12-12-550	大風雨有之
1614年	9月9日	慶長十九年	八月六日	その他：風害	言緒卿記	史料 12-12-551	大雨大風
1614年	9月9日	慶長十九年	八月六日	その他：大雨	義演准后日 記十六	史料 12-12-551	大雨
1614年	9月10日	慶長十九年	八月七日	風害	梵舜日記 十八	史料 12-12-550	昨日之風雨ニ神龍院之廊下依損、屋根已下葺申付也
1614年	9月30日	慶長十九年	八月二十七日	その他：風害	孝亮宿禰日 次記四	史料 12-12-550	入夜風雨以外也
1614年	10月1日	慶長十九年	八月二十八日	洪水：その他	時慶卿記 四一	史料 12-12-550	雨天又風、北ヨリ荒、下ハ洪水ト
1614年	10月1日	慶長十九年	八月二十八日	洪水：その他	義演准后日 記十八	史料 12-14-551	大雨洪水、大住村洪水、立毛過半流由注進

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1614年	10月1日	慶長十九年	八月二十八日	洪水：その他	駿府記	史料 12-14-551	大雨洪水、山城、河内、近江方々堤崩、百姓流家溺死多云々、或説今年三合歳故云々
1614年	10月1日	慶長十九年	八月二十八日	洪水：その他	当代記九	史料 12-14-552	大洪水、去春夏大水ヨリ高シ、寅刻ヨリ北西ノ大風吹、中ニモ伊勢国大水也、河辺ハ家流、人馬以下流死、上方モ大水ニテ、山城国井出ノ里州余流、大坂森口此度又堤切、飯盛山ノ麓ヨリ、近辺如潮水、知行十六万石之通、徒成海、伏見京橋水越、町中家五尺水有、大坂天満ノ橋落
1614年	10月1日	慶長十九年	八月二十八日	風害	当代記九	史料 12-14-553	未刻関東江戸大風、大名小名屋形一字モ不全、其内ニ顛倒之屋形多之、民屋以下可察之、伊達政宗、松平筑前守(前田利常)千量敷ノ家、同門已下倒、況哉其外ノ家屋不可勝計、五十年已来之大風ト云々、其中ニ酒井与四朗家門不残悉倒、駿河、遠州、参河ハ風不吹、愛宕山権現堂前ノ杉倒、同鉄鳥井倒、江州モ風強シテ、大木吹折、根堀ニ倒ル、モアリ、朝妻前原舟付家共、水ニ浸付テ、五丁余退、山際ニ居住ス、此程町中ハ成舟道、京辺土堤、町人ニ宛被築、関東中大風大雨、上野国一本木家四十間流、依為利根河際、江戸へ運送檣已下、置彼地所ニ悉流ノ当月中国々恠異多之
1614年	10月1日	慶長十九年	八月二十八日	洪水：その他	玉露叢	日本災異志	八月二十八日大雨降り洪水トナリ山城河内近江等處々ノ堤崩壊シ民屋流蕩溺死セシモノ數多アリ是日江戸大風土民ノ屋舎及ヒ堂塔山川等多ク損壊セント云ウ
1614年	10月2日	慶長十九年	八月二十九日	洪水：その他	義演准后日記十八	史料 12-14-551	大住村洪水見舞使遣、依無通路、途中ヨリ帰了
1614年	10月3日	慶長十九年	八月三十日	洪水：その他	義演准后日記十八	史料 12-14-551	大住村洪水、立毛過半流由注進
1614年	11月26日	慶長十九年	十月二十五日	地震	時慶卿記四二	史料 12-15-708	地震、午下刻大動コト帯タ、シ、暫不静
1614年	11月26日	慶長十九年	十月二十五日	地震	言緒卿記五	史料 12-15-708	午刻大地震
1614年	10, 11月 (10.4-11.1)	慶長十九年	九月	疫病	紀事 野史	日本疾病史	畿内近畿風疾流行、自是月、至冬十月
1614年	6, 7月 (6.8-7.6)	慶長十九年	五月	その他：大雨	長沢聞書	日本凶荒史孝	毎日大雨降続、摂津、河内、和泉一つになる
1614年	5, 6月 (5.9-6.7)	慶長十九年	四月	洪水：その他	玉露叢・日本野史	日本災異志	四月三日ヨリ霜雨諸国洪水アリ道路橋梁堤防等崩レ田畝多ク水損ス(玉露叢)按スルニ實録日本野史共ニ六月畿内大水鴨川溢漂没家屋ニ作ル」
1615年	5月20日	慶長二十年	四月二十三日	その他	続史愚抄五三	史料 12-22-310	頃日京師饑
1615年	5月28日	慶長二十年	五月一日	冷害・雪害	本朝年代記	日本の気象史料	氷降る
1615年	7月18日	慶長二十年	六月二十三日	洪水：その他	土御門泰重卿記一	史料 12-21-164	大水、東方小路如大河、一時洪水耳目驚のミ、水深二尺許也
1615年	7月18日	慶長二十年	六月二十三日	洪水：その他	梵舜日記十九	史料 12-21-310	以外大雨洪水也
1615年	7月18日	元和一年	六月二十三日	洪水：その他	孝亮記 日本野史	日本災異志	京都大風洪水
1615年	7月19日	慶長二十年	六月二十四日	洪水：その他	孝亮宿禰日記四	史料 12-21-165	雨降、近日大雨洪水有之
1615年	7月21日	慶長二十年	六月二十六日	洪水：その他	義演准后日記十九	史料 12-21-165	洪水、近代之儀云々、白川ノ水見物、京宿坊ノ門前道人渡カネタル時也
1615年	7月23日	慶長二十年	六月二十八日	洪水：その他	義演准后日記十九	史料 12-21-165	大住村洪水、田地過半損シタル由注進、珍事
1615年	9月4日	慶長二十年	七月十二日	洪水：その他	土御門泰重卿記一	史料 12-22-65	従昨夜至于今朝、雨不止、少々洪水也

西 暦		和 暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1616年	8月26日	元和二年	七月十四日	その他：風害	義演准后日記二十	史料 12-26-1	大雨大風
1616年	11月3日	元和二年	九月二十四日	その他：風害	土御門泰重卿記一	史料 12-26-1	申刻大風雨也
1617年	6月4日	元和三年	五月一日	冷害・雪害	享祿以来年代記	統群書類従 29下	大雹降
1617年	6月4日	元和三年	五月一日	風害：冷害・雪害	土御門泰重卿記二	史料 12-28-455	未刻雹降、大サ如大栗、其内極大ナルハ（実物大の絵略）これほと御座候、諸人驚耳目候、六七十之老人一世不覚候由申候、雹之後、雨又雷又電半時計
1617年	6月4日	元和三年	五月一日	冷害・雪害	中院通村日記一	史料 12-28-456	至申上刻水雨〈氷ト雨ト相交〉降、其形有大小、大者八九分、或円或長、形不定、希有事也
1617年	6月4日	元和三年	五月一日	冷害・雪害	鹿苑日録二五	史料 12-28-456	未刻天雨雹、大或如梅子、或如大豆、大小相雜、雷鳴雨降…皆言、未見如此大雹、奇異哉
1617年	6月4日	元和三年	五月一日	冷害・雪害	義演准后日記二一	史料 12-28-456	大夕立雷鳴、氷降
1617年	6月4日	元和三年	五月一日	冷害・雪害	元寛日記二	史料 12-28-456	大雪降、諸国麦作大損
1617年	6月4日	元和三年	五月一日	旱魃・渇水	義演准后日記二〇	史料 12-27-375	十五日以来雨不降、農民迷惑云々
1617年	6月29日	元和三年	五月二十六日	旱魃・渇水	義演准后日記二〇	史料 12-27-375	炎旱以外也、農作止之、万民愁之
1617年	7月1日	元和三年	五月二十八日	風害	義演准后日記二〇	史料 12-27-375	昨今大風吹口損、小雨降、不立用作毛、咲止々
1617年	7月7日	元和三年	六月五日	旱魃・渇水	義演准后日記二〇	史料 12-27-375	炎旱数日不降、万民愁、珍事々々
1617年	7月8日	元和三年	六月六日	旱魃・渇水	義演准后日記二〇	史料 12-27-375	万民愁、近年之炎旱也
1617年	7月10日	元和三年	六月八日	旱魃・渇水	義演准后日記二〇	史料 12-27-375	雨降、甘雨降、万民悦
1617年	7月26日	元和三年	六月二十四日	旱魃・渇水	義演准后日記二〇	史料 12-27-375	不降雨、愁民満巷
1617年	8月6日	元和三年	七月五日	旱魃・渇水	義演准后日記二〇	史料 12-27-375	数日炎旱、今日大雨降、珍重々々〔鳥羽ノ百姓水論之事〕年月日未詳『板倉政要記』を合叙
1617年	8月6日	元和三年	七月五日	風害	土御門泰重卿記二	史料 12-28-456	大雨大風、穿屋壞壁、以外也
1617年	10月6日	元和三年	九月七日	風害	土御門泰重卿記二	史料 12-28-456	入夜大雨、亥刻大風、壁吹倒事、家々屋ね吹マクリ、又ハフナト吹落、洛中鳴動不斜候
1618年	1月16日	元和三年	十二月二十日	火災	孝亮記	日本災異志	本願寺火
1618年	3月31日	元和四年	三月五日	火災	孝亮記	日本災異志	京師火
1618年	7月3日	元和四年	五月十一日	洪水：その他	土御門泰重卿記二	史料 12-30-104	昨夜より大雨、今朝大洪水、市中大河起波瀾也、東河平等大水、田地損畢
1618年	7月3日	元和四年	五月十一日	その他：風害	時慶卿記四四	史料 12-30-104	大風雨終日不止、後ニ聞、水洪ニ出候
1618年	7月3日	元和四年	五月十一日	洪水	言緒卿記	史料 12-30-104	洪水出来
1618年	7月3日	元和四年	五月十一日	洪水：その他	義演准后日記二二	史料 12-30-104	夜前大雨降、洪水
1618年	7月3日	元和四年	五月十一日	洪水：その他	梵舜日記二一	史料 12-30-104	大雨降、以之大洪水、領内河原田地共流也
1618年	9月24日	元和四年	八月六日	火災	續皇年代略記・玉露叢	日本災異志	六角堂火
1619年		元和五年		その他	雨窓閑話上	史料 12-31-786	（神君御代）元和五年天下困窮及びし節、其貯にて御救下され
1619年		元和五年		疫病	続年代記	日本震災凶饑攷	飢饉瘡疫流行し、人多死
1619年	1月9日	元和五年	十二月五日	旱魃・渇水	元寛日記三	史料 12-31-786	天温如極暑、万民著帷子、猶拭汗、今年天変地妖相続
1619年	7月9日	元和五年	五月二十八日	その他：大雨	梵舜日記二二	史料 12-32-471	雨降、川水出也

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1619年	9月17日	元和五年	八月十日	洪水	元寛日記三	史料 12-31-786	天下一同洪水、田畑大損亡、民屋漂流、人民牛馬犬鶏溺死事夥故、飢死者満街
1619年	10月17日	元和五年	九月十日	風害	土御門泰重卿記三	史料 12-31-785	大風大雨、洛中舎宅破損不斜候
1619年	12月10日	元和五年	十一月五日	風害：その他	梵舜日記二二	史料 12-31-785	当院年貢米納之、寿等米、申付、例年如此也、当年風損ヨリ少分納也
1619年	8, 9月 (8.10-9.7)	元和五年	七月	疫病：早魃・渴水	元寛日記三	史料 12-31-786	自五月三日至七月、大早魃、雨不降一滴、禾穂乍立枯、不登五穀由、自諸国注進、又不時雜尊卑瘡瘡疫疾、人民牛馬死夥
1620年	4月2日	元和六年	二月三十日	火災	孝亮記・補任梵舜日記・日本野史・續皇年代略記○延焼以下孝亮日記野史	日本災異志	京都大火、焼亡数千家
1620年	4月6日	元和六年	三月四日	火災	梵舜日記紀事・日本野史・續皇年代略記○延焼以下日記紀事野史	日本災異志	京都又火、延焼千餘家、
1620年	4月13日	元和六年	三月十一日	火災	孝亮記	日本災異志	丹波福知山火
1620年	4月28日	元和六年	三月二十六日	火災	孝亮記	日本災異志	丹波亀山火
1620年	5月5日	元和六年	四月三日	火災	孝亮記	日本災異志	上醍醐火
1620年	6月20日	元和六年	五月二十日	洪水	本光国師日記二八	史料 12-33-712	九日之状来、河内大水之由申来ル
1620年	6月21日	元和六年	五月二十一日	洪水：その他	孝亮宿禰日記次記六	史料 12-33-709	依連日雨、洪水有之、夜半堤切損云々
1620年	6月21日	元和六年	五月二十一日	洪水：その他	梵舜日記二三	史料 12-33-710	雨降、近年之大洪水、賀茂堤切、京中町人普請被申付候由也、次当院西ノ庵井、大雨ニ小石共出也
1620年	6月21日	元和六年	五月二十一日	洪水	孝亮記・日本野史	日本災異志	京都洪水
1620年	6月25日	元和六年	五月二十五日	洪水：その他	梵舜日記二三	史料 12-33-710	依大雨洪水、為名代、聖廟へ長三郎申付也
1620年	7月26日	元和六年	六月二十七日	その他：大雨	梵舜日記二六	史料 12-33-716	自曉赴東山浄土寺、昨日雨連曉故、河水大漲令数人戴□而渡河
1620年	7月27日	元和六年	六月二十八日	洪水：その他	薩藩旧記増補	史料 12-33-715	当年上方以外之洪水ニて、方々之堤きれ、和泉、河内之知行、当年は荒可申由候、就其、斛之直以外之上候、来年も一段高直ニ可有之由候間、御蔵入之米、早々上候様ニ御談合肝要ニ候（伊勢貞昌から喜入、三原宛）
1620年	7月31日	元和六年	七月二日	洪水：防災	本光国師日記二八	史料 12-33-712	河内大水之妖オス、堤普請自公儀被仰付候様ニ才覚申候之由、書中也、同河内之水入之絵図共来ル…山岡図書殿七月二日之状来、河内之水入之様子馳走申由之書中也
1620年	9月13日	元和六年	八月十七日	洪水	本光国師日記二八	史料 12-33-712	寺志州へ状遣ス、岡次郎兵へ状遣ス、諸国大水之事…申遣ス
1620年	4, 5月 (4.3-5.2)	元和六年	三月	その他：大雨	孝亮記・日本野史	日本災異志	近畿水数發、四民不能姑息
1620年	8, 9月 (8.28-9.25)	元和六年	八月	洪水	東武実録七上	史料 12-33-717	畿内西国洪水
1622年	4月24日	元和八年	三月十四日	防災：早魃・渴水	賀茂社家日記	史料 12-50-69	雨乞可有、洗太田池サラユヘキ也
1622年	4月24日	元和八年	三月十四日	防災	賀茂社家日記	史料 12-50-69	太田池掃除有、池サラユル也（惣地下ミソロ池者モ出ル）
1622年	6月21日	元和八年	五月十三日	早魃・渴水	義演准后日記二三	史料 12-49-37	五月雨時分不降、珍事々々

西 暦		和 暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1622年	7月11日	元和八年	六月三日	防災：旱魃・渇水	賀茂社家日記	史料 12-50-70	一請雨有、廿一人貴布祢被參候／太田池サラユル、先度のことく也／シンチヤチヤ池サラユル／…夜入地下人神前フトリ申候
1622年	7月12日	元和八年	六月四日	防災	賀茂社家日記	史料 12-50-76	一、廻水之事、地下より訴訟有…覚（沙汰人三名連署、四箇条）一、…一、若百姓水番ニ不出者在之ハ、在所中可有追放事
1622年	7月14日	元和八年	六月六日	旱魃・渇水	義演准后日記二三	史料 12-49-37	夜前大雨降、歛修寺村并隣郷、今日植苗、当郷ハ一兩日以前ニ大形植済畢、去月雨不降、旱魃
1622年	7月14日	元和八年	六月六日	その他	賀茂社家日記	史料 12-50-77	夜入迄小雨フル、端々田地共植事無限候也
1622年	7月16日	元和八年	六月八日	旱魃・渇水	賀茂社家日記	史料 12-50-78	老若寄合有、〈アサフレ也〉十七日講より訴訟有、惣納田地早天ニ付、水下迄不通候付、雜穀時可申す哉、如何可或哉、評議ニハ、十七日講次第可有御申付候也
1622年	7月17日	元和八年	六月九日	洪水：その他	賀茂社家日記	史料 12-50-78	昨日ヨリ大雨、大洪水出ル、午刻晴ル
1622年	7月18日	元和八年	六月十日	旱魃・渇水	舜旧記二四	史料 12-50-37	弥勒之田地二段、依大旱、大豆植付也、近郷同前也
1626年	6月30日	寛永三年	五月七日	その他：風害	孝亮記	日本震災凶 鐘攷	大風
1626年	9月2日	寛永三年	七月十二日	旱魃・渇水	続史愚抄	日本の気象 史料	頃日炎旱大甚…京師井水殆涸…世間買水云々
1626年	9月24日	寛永三年	八月四日	洪水	孝亮記	日本震災凶 鐘攷	洪水
1626年	10, 11月 (10.20-10.18)	寛永三年	九月	旱魃・渇水	皇年代私記	改定史籍集 覧 19-P80	夏秋大旱、井竭、
1626年	7, 8月 (7.23-8.21)	寛永三年	六月	旱魃・渇水	孝亮記	日本震災凶 鐘攷	夏大旱
1626年	9, 10月 (9.21-10.19)	寛永三年	八月	旱魃・渇水	享禄以来年 代記	続群書類従 29 下	～八月、群国旱魃
1627年	8月22日	寛永四年	七月十二日	その他：風害	続王代一覽	日本震災凶 鐘攷	大風
1627年	9月15日	寛永四年	八月六日	洪水	続王代一覽	日本震災凶 鐘攷	京師及び諸国洪水
1627年	9月15日	寛永四年	八月六日	洪水	續皇年代略 記	日本災異志	京都及諸国洪水
1628年	12月4日	寛永五年	十一月九日	火災	孝亮記	日本災異志	松尾社火
1629年	10月26日	寛永六年	九月十日	火災	續皇年代略 記	日本災異志	九月十日、清水寺炎上、堂塔坊舎、悉皆焼亡
1630年	2月12日	寛永七年	一月一日	火災	孝亮記	日本災異志	浄禅寺
1630年	7月28日	寛永七年	六月十九日	洪水：その他	野史	日本震災凶 鐘攷	大風雨、京都及び越前洪水、死亡二百数十人
1630年	7月28日	寛永七年	六月十九日	洪水：その他	孝亮記・日 本野史	日本災異志	六月十九日大雨洪水、越前大水死亡二百数十人
1631年		寛永八年		疫病	享禄以来年 代記	続群書類従 29 下	去年今年、日本国中病痒瘡、名曰肥前瘡
1631年		寛永八年		疫病	享禄以来年 代記	続群書類従 29 下 -P259	去年今年、日本国中病痒瘡、名曰肥前瘡、
1631年		寛永八年		風害	享禄以来年 代記	続群書類従 29 下	大風壞屋抜木
1631年	8, 9月 (8.28-9.25)	寛永八年	八月	風害	享禄以来年 代記	続群書類従 29 下 -P259	大風、壞屋、抜木、
1633年	2月17日	寛永十年	一月九日	火災	續皇年代略 記・孝亮記	日本災異志	智恩院火
1633年	3月1日	寛永十年	一月二十一日	地震	享禄以来年 代記	続群書類従 29 下	～二十二日、地震十六回
1633年	3月1日	寛永十年	一月二十一日	地震	享禄以来年 代記	続群書類従 29 下 -P259	二十一日至二十三日、地震十六回
1633年	9月26日	寛永十年	八月二十三日	その他：風害	後年代記	日本震災凶 鐘攷	大風雨

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1633年	7, 8 月 (7.6-8.4)	寛永十年	六月	洪水	享禄以来年代記	続群書類従 29 下 -P259	四・五・六月、大洪水、江州水溢一丈二尺余
1634年	1 月25日	寛永十一年	十二月七日	火災	續皇年代略記 ○本書又明年九月十六日火柳營秘録 十二年十二月七日火自塔二級起疑天火	日本災異志	東寺塔火
1634年	2 月 6 日	寛永十一年	二月四日	火災	孝亮記	日本災異志	丹波龜山火
1635年	7 月26日	寛永十二年	六月十三日	風害	武江年表	日本震災凶謹攷	遠江伊豆大風、船舶八百余艘を破壊す
1636年	7 月 (7.3-7.31)	寛永十三年	六月	旱魃・渇水：その他	武江年表	日本の気象史料	五月六月の間、更に雨降らず、西国北国は大雨、紀州其外南海にて海鳴事九ヶ度
1637年	11月25日	寛永十四年	十月九日	火災	續皇年代略記・弘賢筆記	日本災異志	嵯峨清涼寺火
1638年		寛永十五年		疫病	豊前国宇佐郡四日市村年代記	続群書類従 29 下	諸国牛疫病流行にて悉死、一国に漸五疋相残由
1640年		寛永十七年		疫病	豊前国宇佐郡四日市村年代記	中山重記校訂	当年も諸国牛疫病流行
1640年	5, 6 月 (5.21-6.19)	寛永十七年	四月	疫病	享禄以来年代記	続群書類従 29 下	～八月、畿内近国牛疫死満街
1640年	9, 10 月 (9.16-10.14)	寛永十七年	八月	疫病	享禄以来年代記	続群書類従 29 下 -P260	四月至八月、畿内近国、牛疫死満街
1641年		寛永十八年		その他	享禄以来年代記	続群書類従 29 下	是秋柑類不熟
1641年	6 月26日	寛永十八年	五月十八日	火災	續皇年代略記	日本災異志	京都火、中京焼亡
1642年		寛永十九年		その他	豊前国宇佐郡四日市村年代記	中山重記校訂	春より夏に至り、諸国共大飢饉、餓死甚多、京大坂辺野非人菰かぶり数千人におよぶ
1642年	1, 2 月 (1.31-2.28)	寛永十九年	一月	冷害・雪害：その他	享禄以来年代記	続群書類従 29 下	～三月大雪、三～七月天下大飢饉、死者多、米価貴踴
1642年	7, 8 月 (7.27-8.25)	寛永十九年	七月	その他	享禄以来年代記	続群書類従 29 下 -P260	三月至七月、天下大飢饉、死者多、米価貴踴
1644年	2 月10日	正保一年	一月三日	火災	續皇年代略記 ○或爲二月十三日 ○弘賢筆記爲正保二年正月二十三日	日本災異志	愛宕山火
1645年	10, 11 月 (10.20-11.18)	正保二年	九月	旱魃・渇水	続年代記	日本震災凶謹攷	自春至秋旱魃
1646年	12月24日	正保三年	十一月十八日	火災	續皇年代略記・基長記	日本災異志	祇園社火
1649年	6 月 5 日	慶安二年	四月二十五日	その他：風害	泰平年表	日本震災凶謹攷	大風
1652年	3, 4 月 (3.10-4.8)	承応一年	二月	火災	續皇年代略記	日本災異志	京都六条道場火
1653年	7 月17日	承応二年	六月二十三日	火災	續皇年代略記	日本災異志	六月二十三日皇宮火、宮殿悉皆焼亡、文庫一字残焉、寶器無志
1660年	9 月 3 日	萬治三年	七月二十九日	洪水：その他	紀事・續皇年代略記・日本野史	日本災異志	京都及伊勢大雨洪水
1660年	9 月25日	萬治三年	八月二十一日	洪水：風害	紀事・續皇年代略記・日本野史	日本災異志	京都及諸国大風洪水、伊勢宇治橋墜

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1661年	2月14日	寛文一年	一月十五日	火災	泰平年表	日本災異志	正月十五日巳ノ下刻、洛中大火、内裏類焼、是ニ由リテ、今上ハ白川ノ照高院ニ、仙洞ハ修学寺ニ行脚セリ、公家ノ邸第一百十九軒佛寺十六ヶ所、町家五百六十八軒焼亡ス
1662年	6月16日	寛文二年	五月一日	地震	玉露叢	日本災異志	五月朔日、京都地大ヒ震聲アリ車輪ヲ轉スルカ如ク其ノ後、即チ必ス地震、皇城及ヒ處々ノ築地崩壊ス四日ニ至ルマテ毎日、地震スル二十七回或ハ三十回、七月ニ至リテ尚止マズ地裂クル一尺許、是ニ於テ洛中ノ堂塔佛寺、大半顛倒、五條ノ石橋、悉ク崩レ三條ノ大橋殆ト落ち屋舎多ク倒ル壓死スルモノ負傷スルモノ共ニ甚タ多シ 伏見ハ市家二百二十字、土蔵十五棟、顛倒シ、一百八十餘宇破損ス、為メニ壓死スルモノ四人、御番ノ官、石華表、石燈籠悉ク僵ル向島ノ堤、處々崩ル、三百餘間、但シ内四拾六七間ハ皆地中ニ陥没ス 六地藏紀伊郡六地藏村船人方ノ山、崩ル・八拾間餘、東方ハ二十間南方ハ悉ク崩レ市家ノ倒ル・モノ拾三字 近江ニ在リテ大津ハ幕府ノ米倉悉ク倒レ小野惣左衛門當時ノ代官ノ居宅并ニ市家大抵破損ス 膳所本多氏ノ居城城ハ天守櫓ヲ除クノ外、悉ク倒ル 永原ノ蒲生郡石原カ御殿櫓ニヶ所倒レ其ノ他處々破損ス 大溝分部氏ノ居城ハ諸士ノ邸宅悉ク倒レテ僅ニ五戸ヲ存シ市家三百字許ノ内悉ク倒レテ僅ニ拾戸ヲ存スルノミリョウ内ノ民舎凡ソ一千二十字餘倒レ壓死スル男女二十人 斃ル・馬五頭、滋賀、辛崎大津代官所配ノ分ハ田畑拾五町餘陥没、倒ル・民舎一千五百七拾字餘 榎本村滋賀郡ハ戸數五十字餘ニシテ壓死スルモノ三百餘人アリ 町村滋賀ハ戸數五十字餘ニシテ壓死スルモノ三百餘人アリ 町村滋賀郡ニ屬ス朽木谷ノ南二里ニアリハ戸數五十字餘、人口三百餘アリテ生存スルモノ僅ニ三十七人其ノ他ハ廬舎皆ナ地中ニ陥没シテ亡ビタニ見ヘス 朽木山高島郡ニ屬ス近傍諸山ノ総稱崩レテ朽木谷本書ニ朽木權之助居所トアリヲ埋メ忽チ高サ二町許、長サ八町餘ノ山ヲ生ヌ為メニ埋没セシモノ亦多シ 大阪ニ在リテハ豊後橋、京橋、肥後橋、傾キ其ノ他此ノ如キノ類亦多シ 産河ニ在リテ田原渥美郡、三宅氏ノ領知ハ民舎倒レ田畑隆起、地裂ケ水湧キ或ハ山丘ヲ現出スル所アリト云ウ」以上
1663年	9月6日	寛文三年	八月五日	洪水：その他	泰平年表	日本災異志	京都洪水鴨河溢、堤防損壊
1664年	1月4日	寛文三年	十二月六日	地震	泰平年表・皇年代略記	日本災異志	十二月六日戌時ヨリ丑時ニ至ルマテ京都地大ニ震ヒ二条城破損及ビ洛中ノ築地等處々損壊ス
1667年	3月21日	寛文七年	二月二十七日	火災	續皇年代略記	日本災異志	比叡山火、文殊樓慈覚堂焼亡
1670年	5月20日	寛文十年	四月二日	火災	玉露叢	日本災異志	四月二日、水野監者城下、岡崎町家ヨリ失火、町並五町餘、侍屋數二十軒焼亡ス
1670年	10月5日	寛文十年	八月二十二日	火災	玉露叢	日本災異志	八月二十二日、参州岡崎侍屋數ヨリ失火、町家及ヒ失矧橋類焼ス
1671年	2月21日	寛文十一年	一月十二日	火災	玉露叢	日本災異志	正月十二日、未刻丹波篠山ノ城下火ヲ失シ、風烈シク武家九十一軒町家二百三十五軒焼亡ス
1671年	2月24日	寛文十一年	一月十五日	火災	萬天日録	日本災異志	京師火
1671年	4月2日	寛文十一年	二月二十三日	火災	玉露叢	日本災異志	醍醐失火、市家六十二戸焼亡

西 暦		和 暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1673年	6月22日	延宝一年	五月八日	火災	玉露叢	日本災異志	五月八日、寅上刻鷹司閔白殿ヨリ火ヲ失シ、政所、禁内裏御所、新院御所、女御方、法皇御所残ヲズ焼亡ス但シ本院御所ハ局方焼ケタルノミニシテ御守殿等ハ恙ナシ、此ノ他、類焼ニ罹リシハ鷹司殿ハ勿論、九条、廣橋、西園寺、頂妙寺、長谷寺、風早、芝山、藤本、小川、坊城、五辻、観修寺、日野、烏丸、裡松、菊亭、園ノ諸公家、伏見ノ舊城、水戸候ノ邸、施薬院、半井野菴、毘沙門堂、門跡里ノ坊、中立売通北方ハ小川マテ南方ハ小川半町西マテ 上長者町堀川小川テ焼ケ出ツ「アイノ」町ヨリ「サハヲキ」町マテ、東ノ洞院竹屋町マテ、車屋烏丸通一条下ル丁ヨリ「エヒス」川マテ、両替町ヨリニ條通、室町ハ中立売ヨリ二條マテ、衣ノ店通、新町通、釜座、西ノ洞院通、小川通ハ何レモ中立売ヨリ二條マテ、「エヒス」川通マテ、出水下町ヨリ丸太町下ル丁マテ、及ヒ永井伊賀守本邸、堀川ノ別邸等(玉露叢)凡ソ五千餘軒、(續皇年代略記)(續日本王代一覽)焼死四人翌九日、午刻ニ至リテ鎮火ス
1674年	5月16日	延宝二年	四月十一日	洪水：その他	玉露叢	日本災異志	四月十日ノ夜ヨリ大雨ニテ加茂川桂川洪水堤防處々破損三條ノ大橋流墜ス
1674年	7月16日	延宝二年	六月十三日	洪水	玉露叢・續日本王代一覽・續皇年代略記・日本野史	日本災異志	六月十三日十四日兩日ノ大雨ニテ淀川筋ヨリ水溢レ處々堤防決壊シ大和川ノ堤防モ亦崩壊セリソレヨリ榎並川ト云フ在所其他河内等ノ国マテ屋梁ヲ越ヘ人畜ノ溺死甚タ多シ堤防決壊壞合十七ヶ所 撰津高槻領高一萬石許ノ處陥リテ永ク川トナル 大阪ハ京橋天神橋流墜外ニ小橋二ヶ所天満橋破損野田ト云ウ所ノ町悉ク流レ爲メニ溺死セシモノ甚タ多シ
1676年	1月10日	延宝三年	十一月二十五日	火災	續皇年代略記	日本災異志	十一月二十五日、京都大火、皇居假殿、本院御所、公家等多焼亡、天皇行脚于東山吉田
1676年	2月9日	延宝三年	十二月二十六日	火災	續皇年代略記	日本災異志	法皇女院御所、公家等焼燼
1676年	6月19日	延宝四年	五月八日	洪水：その他	玉露叢	日本災異志	五月五日ノ午刻ヨリ全八日マテノ大雨ニテ洪水トナリ五條ノ橋三條ノ橋流墜大坂ハ四月二十六日ヨリ是ノ月マテノ霜雨ニテ天満橋流墜此ノ河内モ亦洪水アリ
1682年	8月15日	天和二年	七月十三日	火災	續皇年代略記	日本災異志	智積院火
1684年	5月19日	貞享一年	四月五日	火災	續皇年代略記	日本災異志	京都大火
1687年	3月9日	貞享四年	一月二十六日	火災	續皇年代略記	日本災異志	夜、京都火
1688年	6月12日	元禄一年	五月十五日	洪水	續皇年代略記	日本災異志	京都洪水
1690年	9月16日	元禄三年	八月十四日	洪水：その他	風也集・泰平年表・續日本王代一覽	日本災異志	京都及近畿大雨洪水、山崩
1690年	12月1日	元禄三年	十一月一日	火災	續皇年代略記・續日本王代一覽為醍醐寺火	日本災異志	京都上醍醐火
1691年	1月7日	元禄四年	十二月九日	火災	續皇年代略記	日本災異志	京都下立売火、延焼一千餘戸
1692年	4月9日	元禄五年	二月二十三日	火災	續皇年代略記	日本災異志	京都五條火
1692年	12月8日	元禄五年	十一月一日	火災	續皇年代略記	日本災異志	十一月朔日内裏失火公家及真如堂佛寺數宇延焼

西 暦		和 暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1697年	3月2日	元禄十年	二月十日	火災	續皇年代略記	日本災異志	山城宇治大火
1698年	4月16日	元禄十一年	三月六日	火災	續皇年代略記○續日本王代一覽為三日	日本災異志	山城宇治大火
1702年	7月14日	元禄十五年	六月二十日	洪水	續日本王代一覽	日本災異志	京都雷震九十八處、洪水人多死
1706年	2月27日	宝永三年	一月十五日	火災	續日本王代一覽	日本災異志	京都北田中村大火
1707年	10月28日	宝永四年	十月四日	地震	皇年代略記・續皇年代略記・續日本王代・本朝地震考	日本災異志	山城 雨宮庄九郎雨宮源九郎代官所一破潰家拾二家、破損家百六十二軒、此他、国役所堤防所々破損アレモ未タ調査ニ及ハス○又小堀仁右衛門代官所ニテ宇治川木津川ノ堤防大破セシモ未タ其ノ調査セス
1708年	4月28日	宝永五年	三月八日	火災	翁草	日本災異志	三月八日、午前刻、京都油小路三條上ル町西側北ヨリ二軒目伊勢屋市兵衛方ヨリ失火、坤ノ風烈シク須臾ノ間ニ良ノ方へ延焼シテ、禁裡院中其ノ外各御所へ一時ニ猛火ヲ吹キカケレバ、所司代松平紀伊守以下主上及ヒ上皇ヲ守護シ奉リテ下鴨へ臨幸セヨレシニ、既ニ下鴨河合社へ飛火シテ、社家町モ同時ニ燃上リタリシカバ、又俄ニ風箏ヲ促シテ上賀茂へ移ヲセ給ヘリ、夫ヨリ風換ハリテキタナリテ寺町ノ弓手馬手ヲ又南ノ方へ焼ケ戻リ翌九日申下刻ニ焼ケ止マレリ
1708年	5月30日	宝永五年	四月十一日	火災	續皇年代略記	日本災異志	京都、吉田大火
1708年	6月27日	宝永五年	五月十日	火災	續皇年代略記	日本災異志	松尾社火
1708年	8月8日	宝永五年	六月二十二日	洪水	弘賢筆記・風也集・續日本王代一覽・泰平年表・續皇年代略記・日本野史	日本災異志	山城洪水
1712年	9月18日	正徳二年	八月十八日	洪水：その他	續皇年代略記	日本災異志	八月十八日ノ夜大雨ニテ木津川及ヒ淀川洪水人多ク死ス此ノ時尼崎武庫川モ亦洪水
1713年	4月14日	正徳三年	三月二十日	火災	續皇年代略記	日本災異志	三月二十日、京師大火、公家十戸、武家一千七十餘戸焼亡ス
1715年	7月7日	正徳五年	六月七日	洪水	風也集・續皇年代略記・泰平年表・日本野史	日本災異志	京都鴨河洪水
1716年	6, 7月 (6.20-7.18)	享保一年	五月	洪水	風也集・泰平年表・日本野史	日本災異志	山城伏見淀宇治木津洪水
1718年	3月20日	享保三年	二月十九日	火災	續皇年代略記	日本災異志	京都一條淨福寺火
1721年	8, 9月 (8.23-9.20)	享保六年	七月	洪水：その他	續皇年代略記	日本災異志	七月十日大風雨、山城淀八幡山崎洪水、十五日又風雨水
1724年	6月30日	享保九年	五月十日	火災	續皇年代略記	日本災異志	京都火
1728年	8月13日	享保十三年	七月八日	洪水：その他	風也集・泰平年表・弘賢覚書追加	日本災異志	畿内大風雨、洪水
1730年	4月2日	享保十五年	二月十五日	火災	續皇年代略記・續日本王代一覽	日本災異志	二月十五日、四條大和大小路ヨリ火ヲ失シ、芝居并ニ町家多ク灰燼ニ歸ス